

株主メモ

決算日	3月31日
定時株主総会	6月
株主確定基準日	議決権行使株主 3月31日 期末配当金受領株主 3月31日 中間配当金受領株主 9月30日
上場証券取引所	東証・名証一部
証券コード	6676
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告 http://melco-hd.jp/koukoku/
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
同 取 次 所	三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店 ◎電話照会先 TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル) 土・日・祝日を除く9:00~17:00
幹事証券会社	(主)大和証券 (副)野村證券、みずほ証券、SMBC日興証券

株式会社メルコホールディングス (証券コード6676)

本 社 〒460-8315 名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル
TEL.052-251-6891(代) FAX.052-249-6609

株式会社 バッファロー

本 社 〒460-8315 名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル
TEL.052-249-6610(代) FAX.052-249-6609

東京オフィス 〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー
TEL.03-3523-3333(代) FAX.03-3523-3300



UD FONT
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

■ ウェブサイトのご案内

株式会社メルコホールディングス

最新ニュースや会社情報、投資家様向け情報などを提供しております。



パソコン melco-hd.jp

株式会社バッファロー

メルコグループの中核企業のサイトで製品情報を中心に提供しております。



パソコン buffalo.jp



スマートフォン m.buffalo.jp

つなぐ技術で、あなたに喜びを

BUFFALO™



メルコグループ Business Report 2016

2015.4.1 — 2016.3.31

「つなぐ技術で、あなたに喜びを」 コーポレートステートメントを新たに 千年企業を目指し、次のステージへ。

株式会社メルコホールディングス
代表取締役会長
牧 誠



新たな成長戦略でIoT時代を牽引

メルコグループは、本格化するIoT (Internet of Things:モノのインターネット) 時代に求められる安心ネットワークの提供を目指し、2017年3月期からの5ヶ年に関する新中期ビジョンとして「ゲートウェイ2.0」(詳細はP.3)を策定いたしました。同時にコーポレートステートメントをこれまでの「デジタルライフ、もっと快適に」から「つなぐ技術で、あなたに喜びを」に変更いたします。これは、「IT時代におけるお客様の利便性向上」を使命としてきたメルコグループが、今後「誰もが簡単にそして安心してインターネットに接続でき、より安全で快適にデジタルデータを保存・再生できる喜びを提供していく」ことを表明したものです。

また、新たな資本政策を策定し、長期的な株主価値の向上に取り組めます。成長に向けた投資と安定した株主還元を両立し、5期総還元性向80%、一株当たり純利益の長期的な成長を目指してまいります。

3年の構造改革を経て、利益体質へ転換完了

当期におけるデジタル家電業界は、高画質4Kテレビ市場が大きく拡大するも、パソコンの需要減、スマートフォン・タブレット市場の縮小などにより厳しい状況におかれましては。

こうした環境の下、メルコグループは、個人向け市場においては高付加価値製品によるブランド価値向上に努め、法人市場ではカスタム製品や特定用途向け製品の深耕を進めました。グループ収益の安定化を目指し、ロスコスト削減活動の強化、自社ソリューションサービス事業の拡大にも注力しております。さらに3年間にわたる構造改革で、不採算事業の縮小や撤退を実施、同時に部門経費削減や在庫効率化を図るなど、低成長時代に利益を生み出せる体質への転換が完了いたしました。

その結果、当期の業績は売上高800億40百万円(前年同期比3.0%減)、営業利益43億54百万円(同24.0%増)、経常利益52億94百万円(同18.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益37億35百万円(同18.0%増)の減収増益となりました。

グループの強みを活かし、攻勢態勢へ

構造改革を完遂したメルコグループは、次期より法人向けネットワーク製品や自社サービス・ソリューションを核にした攻勢に転じます。PCテクノロジーを応用した新製品カテゴリでは、ハイレゾオーディオNASのグローバル展開や、好評いただいているデジタルフォト・アルバム「おもいでばこ」の拡販を推進します。また、IoT時代を見据え、文教市場をターゲットとした、多台数での安定した接続が可能な無線LAN製品など、技術力と開発力で差別化された戦略製品を順次投入、ブランド力の向上につなげます。このカテゴリに対する研究開発投資・先行投資も積極的に行ってまいります。さらに、引き続き「アパートWi-Fi(※)」を中心とした利益率の高い自社ソリューションの拡大にも注力いたします。

メルコグループは、新たな中期ビジョンとコーポレートステートメントの下、さらなる発展と永続的な成長を続け、千年企業を目指してまいります。

※ Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

メルコバリュー

■ 千年企業

私たちは、先人の教えを真摯に学び活用し、常に未来を見据え、メルコバリューを共有する全ての人たちと共に、メルコグループの永続的な成長を目指します

■ 顧客志向

私たちは、常にお客様の視点に立ち、より良い社会生活の実現に資する商品・サービスを提供し続け、私たちの知恵と努力が社会の発展に寄与することを喜びとします

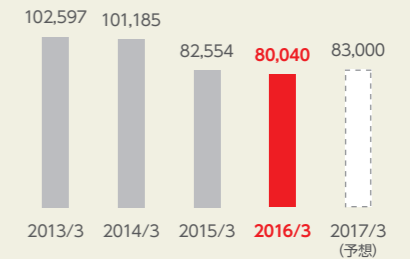
■ 変化即動

私たちは、世の中の変化に目をそむけず、誤りに気付いた時は引き返す勇気を持ち、常に自己研鑽に励み、自己変革を目指して行動します

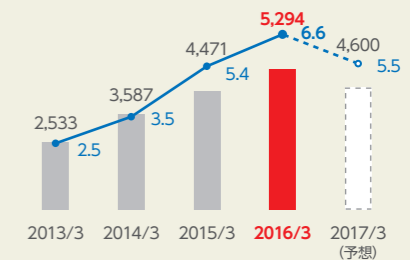
■ 一致団結

私たちは、フェアアンドオープンで、高い志と情熱を共有する人たちと共に、いかなる困難をも乗り越え、一丸となって目標を達成します

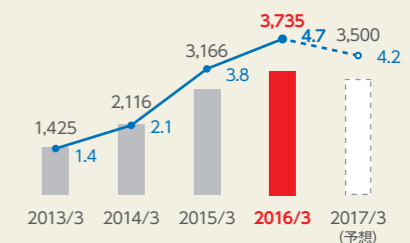
連結売上高 (単位: 百万円)



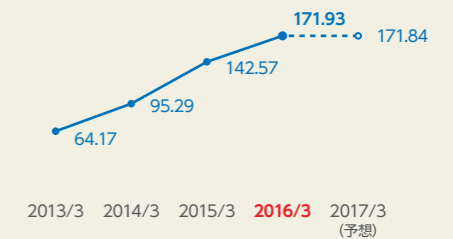
連結経常利益 (単位: 百万円) 連結売上高経常利益率 (単位: %)



連結親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 百万円) 連結売上高当期純利益率 (単位: %)



1株当たり純利益 (単位: 円)



中期ビジョン「ゲートウェイ2.0」

IoT(モノのインターネット)時代の
社会全体での安心ネットワークを提供



パブリックスペースで
Wi-Fiに
「つながらない」
「つながるのが面倒」
「つながるのが怖い」をなくす

パブリック
ゲートウェイ
ソリューション
Public gateway solution

ホーム
ネットワーク
イノベーション
Home network innovation

家庭内でWi-Fiが
「つながらない」
「つながられない」
「つながらなくなった」をなくす



IoT
(Internet of Things)
世の中のさまざまなモノが
インターネットにつながる時代

データ
ストレージ
最適化ソリューション
Data storage optimization

大事なデータが
「消失した」
「消失が怖い」
「再生できない」
「使えるが遅い」をなくす



メルコグループが培った技術・ノウハウを活用し、
新たな分野へのソリューション事業を今後展開していきます。

介護ケアの質の向上、業務の円滑化をサポート

24時間365日休むことのない介護現場では、いかにスタッフの負担を減らして、よりよいサービスを提供するかが課題。「おもいでばこ」を活用したコミュニケーションの活性化、Wi-FiネットワークやNASを用いた事務業務の効率化などで日々の業務をサポートしています。



法人向け
アクセスポイント



デジタルフォトアルバム
おもいでばこ



法人向けNAS



食の安全性アップをITのチカラで

ネットワーク&ストレージ技術を活用して、食品工場での製造プロセスの監視・管理システムを構築、食品業界の課題となる異物混入を防ぐ仕組みを今後提供していきます。より安全で高品質な食品をお届けするシステム・サポートで食の安全に貢献します。



ネットワークカメラ



ネットワーク
ビデオレコーダー

より快適に、いっそう使いやすく、
お客様の生活やビジネスをサポートしていきます。

周辺機器

ネットワーク製品

パソコンやスマートフォンなどでのデータ共有や、インターネット接続を可能にする製品。Wi-Fi環境が学校教室、観光地などで一般化する中、通信の安定性を実現し快適な無線LAN環境を提供する製品の開発を強化しています。



無線LANルーター

法人向けアクセスポイント

ストレージ製品

データを保存する記憶装置。テレビ録画用途に適したデザイン、高信頼のハードディスクを搭載した外付けハードディスクや遠隔地からネットワーク監視できる機能を搭載した法人用NASなど、高信頼高性能を実現した製品を提供しています。



外付けハードディスク

法人向けNAS

サプライ・アクセサリ製品

マウス、キーボードなどの入力機器をはじめ、タブレット用アクセサリをラインナップ。iPhone (※1) やAndroidを自動判別する機能を搭載したUSB充電器など、使い勝手の良い製品の開発に注力しています。



静音マウス

USB充電器

メモリー製品

写真や動画をたくさん撮影して空き容量が少なくなったiPhoneの容量不足を解消できるUSBメモリーなどの付加価値の高い製品のほか、産業用組込み用途では信頼性の高いDDR4対応製品など法人向け製品の開発を強化しています。



Lightning端子搭載USBメモリー

メモリーモジュール

その他

パソコン自作ユーザーに人気のPCパーツブランド「玄人志向」、写真をデジタルで楽しむデジタルフォト・アルバム「おもいでばこ」、ハイレゾ音源を保存する専用のミュージック・ライブラリーなど、PCテクノロジーを応用したさまざまな製品群を提供しています。



おもいでばこ

ハイレゾ・ミュージック・ライブラリー

※1 iPhoneは、米国Apple Inc.の商標です。

サービス



アパートWi-Fi

個人・法人・アパートオーナーなどを対象にさまざまなサービスを展開。訪問設定から保守サービスまで、利用者に合わせてサポートを拡充。無線LANレンタルサービス「アパートWi-Fi」は事前調査から保守までトータルでサポートします。さらに建築現場などの短期利用向けのNAS・監視カメラレンタルサービス「BITSレンタル」を開始するなど、自社の新規サービス拡大に努めています。



金融

前期より営業を開始しました金融事業は、新興国経済の低迷など世界的に市況が厳しい中、投資運用業や金融商品仲介業などで堅調に推移しています。



BCN AWARD 2016 (2015年1月~12月)

15部門受賞

全国大手家電量販店の実売データ集計に基づくAWARDです。

無線LAN部門 14年連続 14回目	NAS部門 3年連続 3回目
外付けHDD部門 8年連続 13回目	ルーター部門 13年連続 14回目
HUB部門 15年連続 16回目	LANカード部門 17年連続 17回目
プリントサーバー部門 16年連続 16回目	記録型DVDドライブ部門 8年連続 8回目
10キーボード部門 2年連続 2回目	USB部門 初受賞
メモリー部門 7年連続 15回目 (※2)	拡張インターフェース部門 13年連続 13回目 (※3)
PC電源部門 5年連続 5回目	ドライブケース部門 6年連続 8回目
グラフィックボード部門 13年連続 13回目	

※2 メルコグループとして。CFD販売としては5年連続5回目。
※3 メルコグループとして。CFD販売としては7年連続7回目。



GfK Japan Certified 2015 (2015年1月~12月)

2部門受賞

1年間の販売数量シェアの最も高かったメーカーを表彰するものです。

ネットワーク部門 8年連続 8回目	HDD部門 8年連続 8回目
-------------------------	----------------------

連結売上高

(単位：百万円)

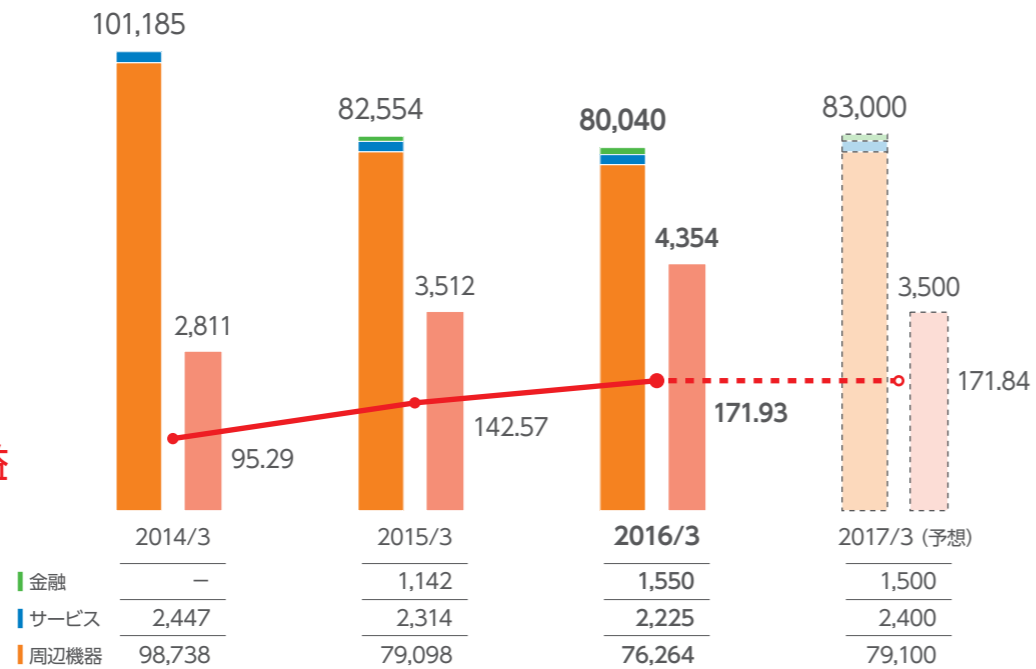
- 金融
- サービス
- 周辺機器

連結営業利益

(単位：百万円)

1株当たり純利益

(単位：円)

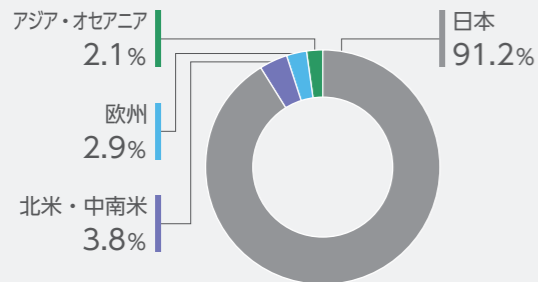


海外売上高 (周辺機器事業)

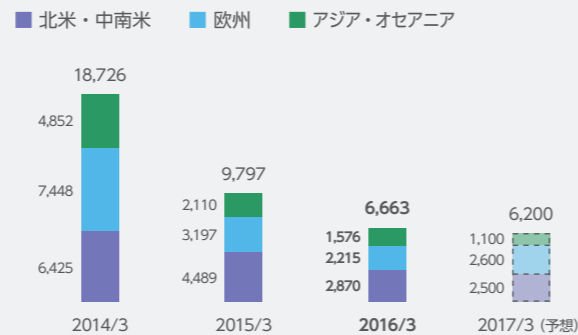
6,663百万円 32.0%減 ↓

海外事業では、NAS製品を中心とした法人向けへの販売シフトを推進し、販売体制の再構築を目的として不採算事業の縮小を完了しました。その結果、売上高は66億63百万円 (前年同期比32.0%減) となりました。

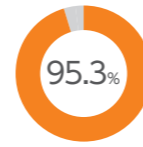
地域別売上高比率 (周辺機器事業)



海外売上高推移 (周辺機器事業) (単位：百万円)

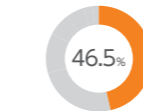


事業別連結売上高

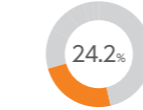


周辺機器 76,264百万円 前年同期比 3.6%減 ↓

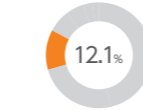
周辺機器事業の売上高は、個人消費低迷が続く中、ネットワークカテゴリではトップシェアの堅持と高付加価値製品の販売強化により前年同期実績を上回りましたが、その他カテゴリでは市場縮小などの理由で前年同期実績を下回った結果、762億64百万円 (前年同期比3.6%減) となりました。一方、営業利益は、粗利の改善や営業努力及び販売管理費の削減活動が奏功し、32億52百万円 (同11.6%増) となりました。主な製品別の状況は、以下の通りです。



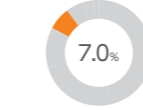
【ストレージ製品】ストレージ製品では、国内個人向け市場は、全体では若干縮小する中、テレビ録画用途の需要は堅調で、高付加価値製品の販売強化とトップシェアの堅持に努めました。その結果、販売台数は前年同期比4.3%減少しましたが、売上高は257億20百万円 (同0.0%増) となりました。NAS製品では、高性能高信頼の法人向け製品の強化に努めました。しかし、国内個人向け市場が縮小し、不採算の海外事業を構造改革により縮小したため海外向け販売の縮小が響き、販売台数は前年同期比15.8%減少し、売上高は115億41百万円 (同11.6%減) となりました。



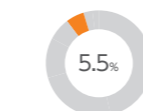
【ネットワーク製品】ネットワーク製品では、国内個人向け市場が順調に推移する中、特に市場が拡大している無線LANの中継機において、たくさんの機器を同時に使用しても安定的な通信が確保できる高付加価値製品を上市するなど、無線ネットワーク黎明期より培ってきた当社技術やノウハウを活用し、ユーザー視点からみた通信の安定性を実現した快適な無線環境の提供を進めました。しかし、海外事業縮小の影響から、販売台数は前年同期比1.5%減少し、売上高は193億91百万円 (同8.4%増) となりました。



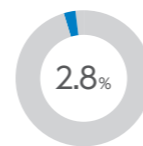
【メモリー製品】メモリー製品では、パソコン用の増設メモリー市場が縮小する中、シェアも若干減少し、その結果、販売台数は前年同期比12.3%減少し、売上高は42億円27百万円 (同14.6%減) となりました。フラッシュメモリー製品では、国内個人向け市場は前年度並みを維持する中、高付加価値製品の販売強化に努めました。同時に収益性に配慮しつつシェア維持のため、普及価格製品の販売を再開した結果、販売台数は前年同期比で16.4%増加しましたが、売上高は54億円 (同3.5%減) となりました。



【サプライ・アクセサリ製品】サプライ・アクセサリ製品はスマートフォン市場が期中より縮小し始めたことに対し、低収益製品群はラインナップの整理を断行しました。その結果、販売台数は前年同期比で7.9%減少し、売上高は55億63百万円 (同22.7%減) となりました。

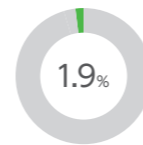


【その他】その他製品では、デジタルフォト・アルバム「おもいでばこ」は順調に推移し、ハイレゾオーディオ・ブランド「MELCO」では、前期は日本国内と米国の2カ国の導入でありましたが、当期は欧州大陸、米国及びアジアパシフィック地域とグローバルに商品導入を推進しました。しかし当カテゴリに含まれる他の販売終了製品の影響により売上高は44億21百万円 (同6.1%減) となりました。



サービス 2,225百万円 前年同期比 3.8%減 ↓

サービス事業では、自社独自ソリューションであるアパートオーナー向けの無線LANレンタルサービス「アパートWi-Fi」の大幅拡大に取り組み、前年同期比350%増の導入を実現し、累計500棟を達成しました。また当期から建設現場などの短期利用向けのNAS・監視カメラレンタルサービス「BITSレンタル」を開始、自社の新規サービス拡大に継続して注力しました。一方で普及率の向上に伴い光回線の代行設定サポート事業は縮小し、売上高は22億25百万円 (前年同期比3.8%減) となりました。営業利益は、利益率の高い自社サービス比率の向上により3億42百万円 (同18.4%増) となりました。



金融 1,550百万円 前年同期比 35.7%増 ↑

金融事業では、新興国経済の低迷など世界的に市況が厳しい中を堅調に推移し、売上高15億50百万円 (前年同期比35.7%増)、営業利益は8億69百万円 (同66.4%増) となりました。

Products DNA —ものづくりの系譜—

日本のオーディオ文化を PCテクノロジーとの融合で守る

DELA N1 シリーズ

メルコシンクレッツ株式会社 代表取締役社長 荒木甲和

ピュアオーディオの世界に「ネットワークオーディオ」が紹介されたのが2007年頃。当初、利便性と音質でCDを超えると思われていましたが、NASの使用法が受け入れられずに下火になっていました。海外はデジタル製品に移行しているのに、日本では定着しない…このままでは、行き着く先はオーディオ文化の衰退でした。バッファローの出発点はオーディオメーカーだったからこそ、それだけはなんとか食い止めたい。デジタルデータがオーディオの中心に来るなら、私たちがその新しい文化を牽引しよう。[DELA]の開発は「ピュアオーディオの文法」に則って行われました。美しい外観、使い勝手の良い操作性、音質を左右する信号の

高い出力品質…ハードにもソフトにもオーディオから出発したバッファローならではの工夫が詰まっています。



DELA N1Z

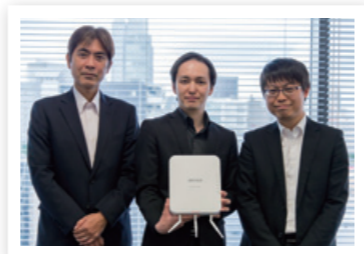
学校向けの無線LAN開発 用意したのは50台のタブレット

法人向けアクセスポイント

ネットワーク事業部 磯畑明彦 / 谷川昌也 / 渡邊大起

授業でタブレットを使用するなど、学校における無線LANの必要性は年々高くなっています。しかしながら、法人向けのアクセスポイントを使って環境を構築しても使い方が違うため、トラブルが起こっていました。そこで、文教向けモデルの開発にあたっては、まず学校や教育委員会を訪問し、現場の環境のヒアリングからスタート。

現場が抱える課題をクリアするため、文教モデルのタブレットを50台購入し、開発を行いました。一斉に接続するため「負荷がかかって遅い」というこれまでの通信の問題を解決。また1対1の通信しかできないというこれまでの制約については通信を振り分ける（公平通信制御）機能で複数通信に対応させました。学校にとって、この製品はツールでありインフラ。授業がスムーズに進むようになったと言われるのが一番の喜びです。



WAPM-1750D

トータルでの“グッドデザイン”を 評価された「おもいでばこ」

デジタルフォト・アルバム

新規事業部 根本将幸 / デザイン課 古畑直樹

初代の発売から4年…写真や動画を手軽に保存、見返すツールとして市民権を得た「おもいでばこ」。4代目はタブレットベースのハードウェアにより、コンパクト化と高性能化を実現。「ソリッド感」をキーワードにデザイン開発を進めました。従来の製品ユーザーとは異なる層のお客様と育んできた「おもいでばこの世界観」を崩さず、いかに「ソリッド感」を出すか。筐体のエッジ処理・素材・形状…細部にまでこだわり、ロゴスペース確保のため、正面にあった電源スイッチは天面に移動させました。「おもいでばこの世界観」を守るため、設計を変更してまで最適の答えを選ぶ。こうして完成した4代目おもいでばこが「グッドデザイン賞」を受賞。筐体やパッケージだけでなく、製品コンセプトから操作方法に至るまでのトータルデザインを評価されての受賞となりました。



おもいでばこ PD-1000

「カスタマーサポート」が バッファローの新しい武器になる

お客様サポート

CS課 嶋田豊秋 / 粟生弓子 / 八鋼麻里

2014年度に発売された新製品は700以上。アイテムが多く、窓口もコールセンターへの問い合わせ内容も複雑になっていました。この状況を改善するため、取り入れたのが「動画でのサポート」でした。お客様の気持ちで撮影・編集、2年で約140本を制作し、解決率はFAQの約2倍に。また「自動音声ガイダンス」では、音声案内でお客様が目的の窓口に辿りつけない原因を検証しました。音声データを分析してわかったのは、「無線LAN」も「Wi-Fi」もお客様によっては「インターネット」という表現になること。こうした「表現のずれ違い」の修正を繰り返し改善しました。これらの取り組みで「コンタクトセンター・アワード2015 最優秀テクノロジー部門賞」及び「HDI問合せ窓口格付け サポートポータル格付け」を受賞。この実績は他社との差別化につながるものになったと思います。



■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期 2016年 3月31日現在	前期 2015年 3月31日現在
① 資産の部		
流動資産	60,476	65,579
固定資産	4,506	3,436
有形固定資産	619	587
無形固定資産	968	1,323
投資その他の資産	2,917	1,524
資産合計	64,982	69,015
② 負債の部		
流動負債	18,671	21,276
固定負債	2,507	2,373
負債合計	21,179	23,650
③ 純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	774	774
利益剰余金	45,993	43,590
自己株式	△3,831	△61
株主資本合計	43,936	45,303
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	190	211
繰延ヘッジ損益	△50	32
為替換算調整勘定	△233	△184
退職給付に係る調整累計額	△40	2
その他の包括利益累計額合計	△133	61
純資産合計	43,803	45,364
負債・純資産合計	64,982	69,015

POINT

① 資産の部

総資産は649億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ40億33百万円減少しました。流動資産は604億76百万円となり51億3百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少37億40百万円、受取手形及び売掛金の減少31億71百万円、有価証券の増加30億円、商品及び製品の減少17億73百万円によるものです。固定資産は45億6百万円となり10億70百万円増加しました。これは主に、投資有価証券の増加14億42百万円によるものです。

② 負債の部

負債合計は211億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億71百万円減少しました。流動負債は186億71百万円となり、26億5百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少24億37百万円によるものです。固定負債は25億7百万円となり、1億33百万円増加しました。

③ 純資産の部

純資産合計は438億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億61百万円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益37億35百万円の獲得と、配当金の支払13億32百万円、自己株式の取得37億69百万円によるものです。

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

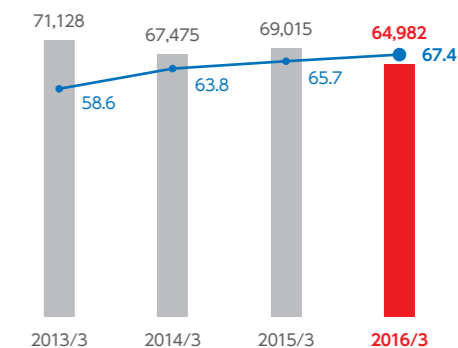
科目	当期 自 2015年 4月 1 日 至 2016年 3月31日	前期 自 2014年 4月 1 日 至 2015年 3月31日
売上高	80,040	82,554
売上原価	62,537	64,884
販売費及び一般管理費	13,148	14,158
営業利益	4,354	3,512
営業外収益	1,000	999
営業外費用	60	39
経常利益	5,294	4,471
特別利益	1	2
特別損失	144	33
税金等調整前当期純利益	5,152	4,440
法人税、住民税及び事業税	705	1,421
法人税等調整額	711	△148
親会社株主に帰属する当期純利益	3,735	3,166

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

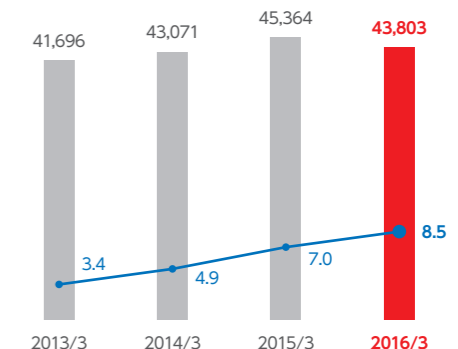
(単位：百万円)

科目	当期 自 2015年 4月 1 日 至 2016年 3月31日	前期 自 2014年 4月 1 日 至 2015年 3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,108	2,956
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,662	△3,465
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,102	△889
現金及び現金同等物に係る換算差額	△83	241
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,740	△1,156
現金及び現金同等物の期首残高	8,404	9,561
現金及び現金同等物の期末残高	4,664	8,404

■ 総資産 (単位：百万円)
自己資本比率 (単位：%)



■ 株主資本 (単位：百万円)
株主資本当期純利益率 (単位：%)



詳細情報は [メルコホールディングス IR](#)

検索

melco-hd.jp/ir/top

国内

■ 株式会社メルコホールディングス

商号 株式会社メルコホールディングス
(英文社名) MELCO HOLDINGS INC.

設立 1986年(昭和61年)7月1日

資本金 10億円

事業内容 メルコグループの純粋持株会社
傘下事業会社の株式を所有し、事業活動支援、経営指導を通じて統括管理を行う

従業員数 20名、メルコグループ連結741名

グループ企業 会社数17社(国内9社、海外8社)

役員(2016年6月17日現在)

代表取締役会長 牧 誠
代表取締役社長 牧 寛之
取締役副社長 松尾 民男
専務取締役 斉木 邦明
取締役 津坂 巖
取締役 箕浦 啓進
常勤監査役 続木 政直
監査役 青山 高美
監査役 小栗 章雄

■ 株式会社バッファロー

商号 株式会社バッファロー
(英文社名) BUFFALO INC.

創業 1975年(昭和50年)5月1日

設立 1978年(昭和53年)8月5日

資本金 3億2千万円

事業内容 デジタル家電及びコンピュータ周辺機器の開発、製造、販売

従業員数 454名

役員(2016年6月17日現在)

代表取締役社長 斉木 邦明
取締役副社長 松尾 民男
常務取締役 渡邊 泰治
常務取締役 井上 武彦
取締役 関 博式
取締役 福田 英雄
取締役 小川 秀和
取締役 竹藤 晴之
監査役 大嶋 健康

事業所	本社	〒460-8315	名古屋市中区大須3-30-20	赤門通ビル	TEL.052-249-6610	FAX.052-249-6609
	東京オフィス	〒104-0033	東京都中央区新川1-21-2	茅場町タワー	TEL.03-3523-3333	FAX.03-3523-3300
	関西営業所	〒532-0003	大阪市淀川区宮原4-1-14	住友生命新大阪北ビル	TEL.050-5533-1250	FAX.06-6398-5755
	北海道営業所	〒060-0031	札幌市中央区北一条東1-4-1	サン経成ビル	TEL.011-200-8150	FAX.011-200-8151
	東北営業所	〒983-0852	仙台市宮城野区榴岡4-5-22	宮城野センタービル	TEL.022-291-0311	FAX.022-298-9470
	中部営業所	〒460-8315	名古屋市中区大須3-30-20	赤門通ビル	TEL.052-249-6600	FAX.052-249-6601
	中四国営業所	〒730-0015	広島市中区橋本町10-10	広島インテス	TEL.050-5830-8888	FAX.082-221-8612
	九州営業所	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前4-9-2	YAOJIセンタービル	TEL.092-477-3711	FAX.092-477-3755

■ シー・エフ・デー販売株式会社

パソコンパーツの総合サプライヤー

■ 株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ

ネットワークインフラの構築・施工・保守

■ 株式会社バッファローメモリ

電子部品・電子応用製品の開発・販売

■ 株式会社バイオス

ストレージ関連製品の開発・製造・販売

■ メルコフィナンシャルホールディングス株式会社

グループにおける金融事業の統括管理

■ メルコインベストメンツ株式会社

投資運用業・金融商品仲介業

海外

■ 〈米国〉BUFFALO AMERICAS, INC.

ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売

■ 〈欧州〉BUFFALO EU B.V.

ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売

■ 〈中国〉巴法絡(亞洲)有限公司

製品調達、製品管理及び国際物流

■ 〈台湾〉巴比禄股份有限公司

ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売

■ 〈シンガポール〉Melco Capital Pte. Ltd.

投資運用業

株式情報 Stock Information

2016年3月31日現在

■ 株式の状況

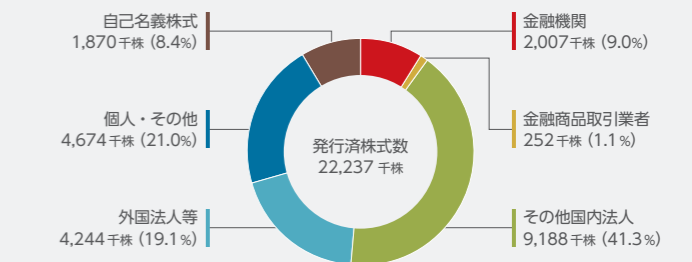
発行済株式数 22,237,873株(自己株式1,870,597株含む)
株主数 6,497名

■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社マキス	8,485	41.7
牧 誠	630	3.1
牧 寛之	617	3.0
牧 大介	617	3.0
株式会社名古屋銀行	501	2.5
公益財団法人メルコ学術振興財団	500	2.5
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	436	2.1
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	434	2.1
THE BANK OF NEW YORK 133522	389	1.9
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	344	1.7

(注) 1. 持株数は、千株未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算し、小数点第2位以下を四捨五入して表示しております。

■ 所有者別分布状況



(注) 1. 持株数は、千株未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 構成比率は、小数点第2位以下を四捨五入して表示しております。